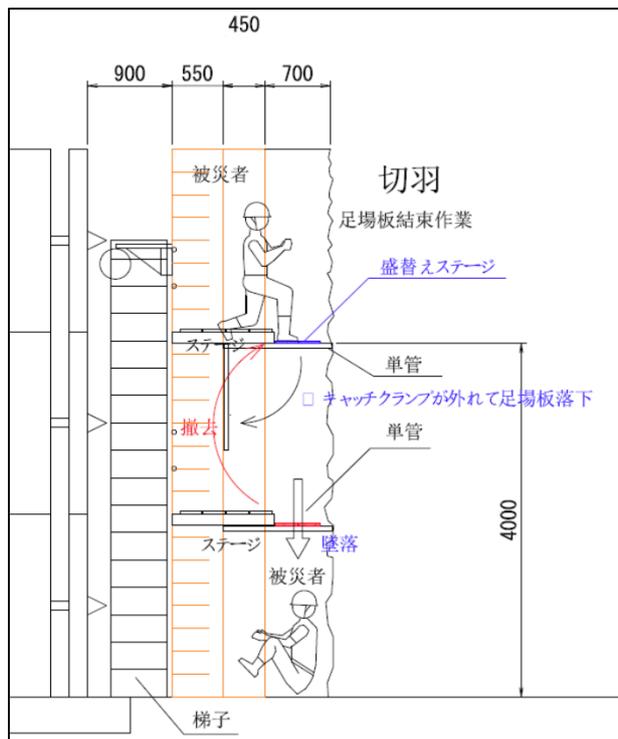
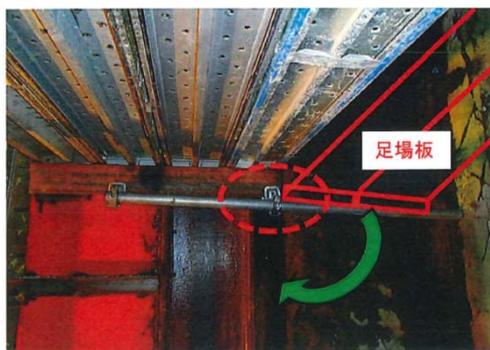


発生日時	平成 26 年 6 月 18 日 (水) 4 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	56	作業員	腰椎骨折、頭部挫創
事故概要	作業員が足場板上にのったところ、支持していた単管のキャップクランプが外れて、作業員が4m下に落下したものの。 労働災害-墜落			

事故発生状況



- ・シールド立坑において、鏡切作業用の足場を鏡側に張り出す作業中に、作業員が足場板上にのったところ、支持していた単管のキャップクランプが外れて、作業員が4m下に落下し、負傷した。
- ・足場を単管とキャップクランプで組み立てる構造は、作業手順書と異なる構造であった。
- ・被災した作業員は、安全帯を装備していたが、使用していなかった。



<外れる前の状態>



<外れた後の状態>

【事故発生原因】

- ・安全帯を使用していなかったなど

【事故防止のポイント】

- ・安全帯の使用徹底
- ・作業手順書の周知徹底など

発生日時	平成 26 年 9 月 14 日 (日) 10 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 造園工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	41	造園工	第8胸椎圧迫骨折、仙骨骨折、右恥坐骨骨折、右第11肋骨骨折(全治2~3ヶ月)
事故概要	高木剪定作業中、作業員が片足を枝に乗せ、体重を掛けた際、枝が折れ、作業員が落下し負傷したもの。			
	労働災害-墜落			

事故発生状況



片足を梯子に、もう一方の足を大枝に掛け体を伸ばして剪定を開始

安全帯を上部の大枝に掛けずに剪定を始め、手を掛けていた枝が突然折れたために転落してしまった。



折れた枝 L=80cm, φ=10cm

・2本の街路樹を2名の樹上作業員が1本に1名ずつ登って剪定を行っていた(このときは安全帯を適正に使用していた)が、前方の高木の剪定が早く終わると判断した被災者は、後方の高木の剪定を手伝おうと木に登った。

・被災者は安全帯を掛けずに剪定を行っていたところ、手を掛けていた枝が突然折れ、転落した。

【事故発生原因】

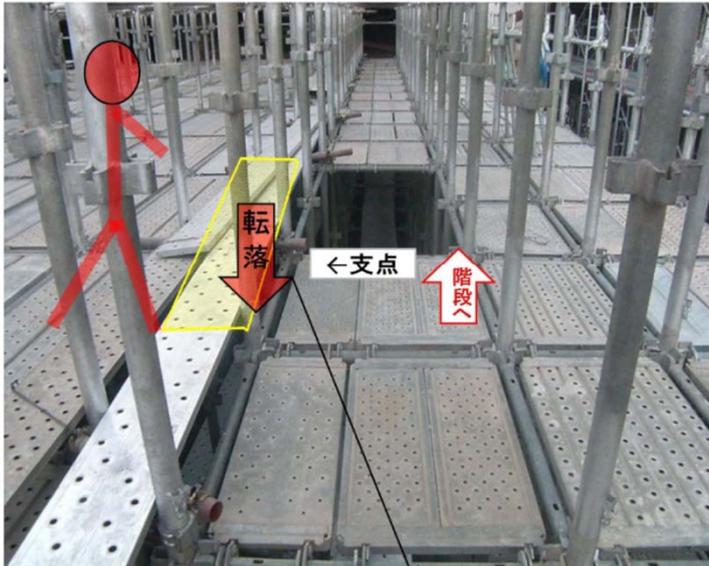
・安全帯未使用
など

【事故防止のポイント】

・安全帯を適正に使用するよう、周知徹底する
など

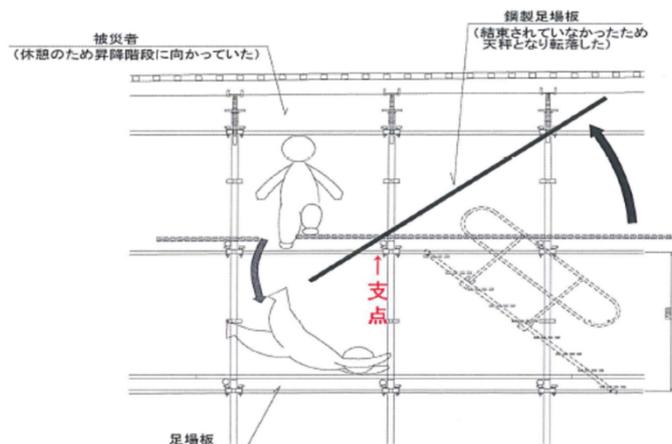
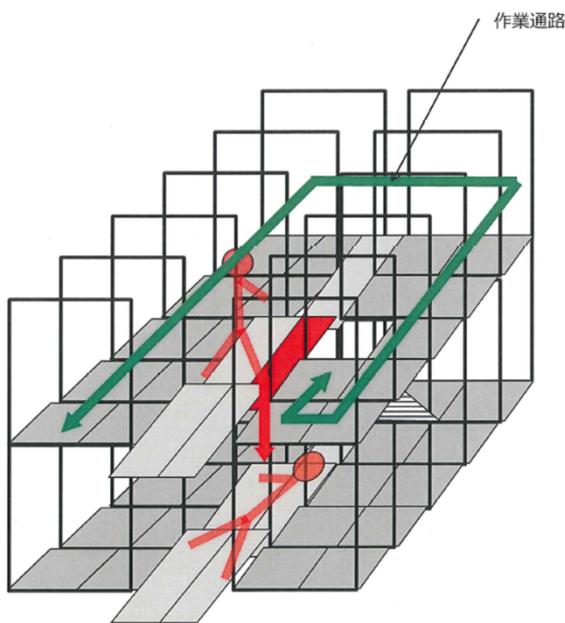
発生日時	平成 26 年 9 月 27 日 (土) 10 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	46	とび工	左肩打撲、左胸打撲
事故概要	コンクリート構造物施工に伴う足場設置作業中、作業員が、他の作業員が設置中の未結末の足場板に乗り、約1.8m下の足場板に落下し、負傷したもの。			
	労働災害-墜落			

事故発生状況



組立中の足場板が天秤になり、転落した。

・支保工内の4段目作業床において、三角形の開口部を足場板で塞ぐ作業をしていた作業員が休憩をとるために、階段へ向かう際、他の作業員が設置途中である未固定の足場板に乗ってしまい、1.8m下の3段目作業床に転落し負傷した。



【事故発生原因】

・設置した足場板が、未固定及び未表示という状態で現場を離れたなど

【事故防止のポイント】

・未固定の足場板がある場合は、他作業員もわかるように看板などで表示しておくなど

発生日時	平成 27 年 2 月 19 日 (木) 11 時 35 分			
工事情報	道路系事務所 造園工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	49	作業員	頸椎骨折
事故概要	造園工事において、作業員が高木剪定作業中、木に登り、枝を切りながら下がってきたとき、枝に手を掛けたところ、枝が折れて、約4m下に墜落したものの。 労働災害-墜落			

事故発生状況

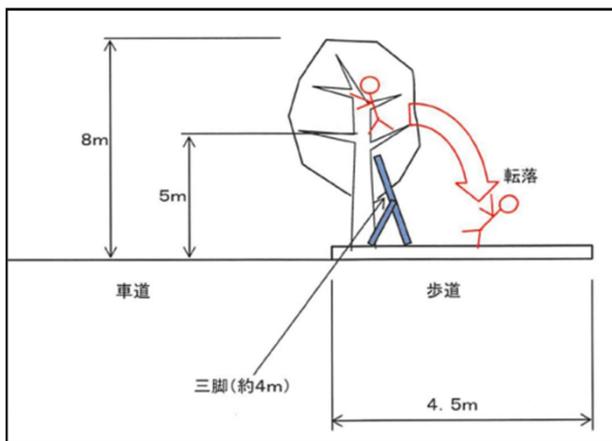
作業状況



剪定していた木



事故発生時状況図



・現場作業員が、街路樹高木剪定作業時に足をかけた枝が折れ、5m下の歩道に落下。

・作業時の街路樹はトウカエデ(樹高約8m, 折れた枝の直径約8cm)

・折れた枝は、健全で腐っていなかった。

・事故発生時、現場作業員は安全帯を着用していたが、落下時は移動のため、フックを外していた。

【事故発生原因】

・安全帯のフックを外していたなど

【事故防止のポイント】

・高所作業車や2丁吊り安全帯を使用するなど